

個人質問

議会事務局 処理欄	令和4年11月17日 8時30分 受付
	質問順位 第12番

武豊町議会議長 石原 壽朗 殿

武豊町議会議員 野田 佳延

一般質問の通告について

令和4年第4回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 武豊町「ゼロカーボンシティ」の進行状況について	<p>【趣旨説明】</p> <p>2022年度は地球温暖化とその結果による異常気象で世界的に大きな被害を受けました。ヨーロッパの各地で干ばつや山火事、パキスタンでは雨や洪水、アメリカやオーストラリアなどでも山火事が勃発し数兆円もの被害がでました。本年11月6日からエジプトで開かれたP27では被災した国や国民からの先進国への抗議文の声が聴かれました。わが国でも、6月中旬から異常な高温が続き、全国的に30度を超す真夏日が3か月も続きました。これは、国連の研究機関による調査で大気中の温室効果ガス(大部分が二酸化炭素)の増加によるものであると結論づけられています。二酸化炭素の排出は、石炭火力発電所からのものが多く、日本では愛知県が毎年一位、二位を争う排出量が多い県になっています。愛知県が全国のGDPで東京に次いで二位の位置を占めていますが、衣浦湾をはさんで、碧南火力発電所、中山名古屋共同発電株式会社名古屋発電所及び名古屋第二発電所と今年8月に稼働を開始した武豊火力発電所を合わせて約543万KWの電気が作られ、愛知の工業を支えています。一方、その過程で3000万トンの二酸化炭素が排出され、地球温暖化を進めていることとなります。武豊町は、愛知県の町村の中でも先駆的に2021年2月に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」を目標に、環境省の「地球温暖化対策計画」を具体化し、2030年度までに、武豊町は2013年度比44%削減という目標を掲げて頑張っています。そこで、2022年度での武豊町地球温暖化実行計画の進行状況と今後の展望について、以下の質問を行います。</p> <p>【質問事項】</p> <p>① 2022年8月に中山名古屋共同発電株式会社名古屋発電所の煙突から異物が飛散し、周辺の車に付着するという事故があったが、飛散物の内容として、石炭を燃焼させた結果出来たものであるかどうか確認できているか。また、大屋敷に出来た観測所での観測データでは飛散物の測定が確認されたのか。</p> <p>② 武豊町3か所の石炭火力発電所との「公害防止協定」のなかに排出物としてどのような項目が記載されているのか。また、その中に水銀が含まれているのか。</p> <p>③ 町内の法人事業所については、太陽光発電施設の設置にあたって、国、県とは別に、武豊町独自の補助金が出ているのか。</p> <p>④ 2022年度における町の公共施設への再生エネルギー(太陽光発電)の導入状況はどうか。また、現在の到達状況はどうか。</p> <p>⑤ 「武豊町地球温暖化対策実行計画」に目標として定められた44%の削減に関して、①産業 ②業務その他 ③運搬 ④家庭 ⑤廃棄物部門についての2022年度における進行状況と見通しはどうか。</p>